

兵庫県医師会医療支援チーム（第34陣）「宮城県災害支援現地報告」

明石市医師会 谷澤 義弘

4回目の石巻となりました。今回は、愛車を駆って名神高速、北陸道、磐越道、東北道、仙台南部道路、仙台東部道路、三陸道を経て28日午前7時に目的地である石巻中学校に到着しました。早朝に着くことで、医師3人体制から1人に移行するために十分な現地情報を前任者からお聞きすることが出来ました。午前中引き継ぎを兼ねて33陣の西口郁先生と行動をともにしたことで、当初から減っているとは言え、午後から1人体制で6カ所の避難所で適切な救護活動をどうするべきか見えてきました。

翌29日には、午前8時30分から石巻第4エリアのミーティングで新潟チームがこのエリアから撤退し、東京の多摩地区のチームとして調布市のメンバーが一人医師態勢で交代して参加されています。兵庫県医師会では石巻中学校の救護所を基地として、午前9時から10時30分まで診療し、その後は午前12時までに山下小学校から山下中学校を巡回診療して、午後2時頃から図書館、市立中央公民館を経て住吉中学校の各避難所を巡回することを説明しました。多摩地区チームもこれを参考に、新潟チームが担当していた門脇中学校、市立女子高校、住吉小学校の避難所を担当していただくようお願いしました。

いずれの避難所も、徐々に避難者の人数は減ってきており、1日の受診者はエリア全体で40～50人程度で多くは地元で回復している医療機関で十分に対応できる状況となっています。30日は台風2号から変わった温帯低気圧のために、強風と雨が1日中続き、石巻に一部では道路の冠水など被害がありましたが、我々のエリアでは無事でした。30日午後には、図書館と公民館は救護班へのニーズが殆ど無いことから、電話対応のみにすることで35陣の伊佐秀夫先生に引き継ぎ、持って帰る医療材料のコンテナ6個を積み込み、31日夜明と共に帰途につきました。